

一目で分かる 平成26年度政策評価結果の概要

政策の評価

政策・施策の目的が A：十分に達成されている B：かなり達成されている
C：そこそこ達成されている D：あまり達成されていない
E：達成されていない

○ 政策27項目の評価結果の内訳

A	B	C	D	E	計
4	22	1	0	0	27

<主な特徴>

◇ 政策名「環境」 政策番号1

温室効果ガス排出量削減率、本市が受け入れるごみ量に加え、エネルギー政策推進のための戦略の策定に合わせて、新たにエネルギー消費量削減率を客観指標に追加したことにより、市民や事業者の省エネや節電の取組が反映されるようになりました。

◇ 政策名「国際化」 政策番号12

観光客等を引き寄せる魅力と受入環境に対する市民生活実感評価及び平和都市として国際社会に貢献していることに対する市民生活実感評価が向上したことにより、総合評価がBからA評価に上がりました。

◇ 政策名「歩くまち」 政策番号20

観光客の公共交通機関に対する評価向上により、客観指標評価が向上したことに加え、駐輪場の整備や自転車の利用マナー向上の取組の推進により、市民生活実感評価も向上し、総合評価がCからB評価に上がりました。

◇ 政策名「消防・防災」 政策番号26

火災による高齢者の死者が増加したことにより客観指標評価に改善が見られませんでした。消防体制への信頼感は引き続き高い評価を得ています。今後も、迅速かつ的確な災害対応に万全を期すことはもとより、市民の防火意識の一層の向上に努めていきます。

施策の評価

○ 施策114項目の評価結果の内訳

A	B	C	D	E	計
26	64	23	1	0	114

<主な特徴>

○ 施策名「食や生活環境の安全・安心の確保」 施策番号 1703

客観指標である非喫煙者の割合と食の安全衛生管理認証数が向上するとともに、路上喫煙防止の取組等の成果もあって、公共の場での禁煙が進んでいるとの市民生活実感評価も引き続き高く、総合評価がBからA評価に上がりました。

○ 施策名「便利でくらしやすい生活圏づくり」 施策番号 2101

客観指標である鉄道駅など交通拠点周辺の集客的土地利用の割合が向上したことにより、総合評価がBからA評価に上がりました。引き続き、駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の提言を踏まえ、便利でくらしやすい生活圏づくりをめざし、都市計画の見直しを行っていきます。

○ 施策名「京都らしいすまい方の継承」 施策番号 2401

客観指標である平成の京町家の認定戸数が伸び悩んでいるため、引き続きD評価となっています。まだまだ始まったばかりの取組であり、市民に十分浸透していないことが課題の一つであることから、今後より一層、市民や事業者に広く普及啓発活動を展開していきます。

○ 施策名「健やかな生活が実感できる緑化の推進」 施策番号 2502

引き続き、緑豊かなまちに対する市民の高い満足度に加え、道路の森づくり、花の道づくり事業の更なる推進等により、客観指標である街路樹の総本数が増加したことから、総合評価がBからA評価に上がりました。